



エンジニア選手権
The Championship of Robotics Engineers
2025-26シーズン スポンサーシップ・機器展示案内



CoRE
The Championship of
Robotics Engineers



チームで大型ロボットを作る過程で 総合的にエンジニアリングを学び続ける 次世代のエンジニア“挑戦的共創人材”を育成する場

年齢・経験関係無しにあらゆる人々がエンジニアリングを学ぶ場を提供します



CoRE
The Championship of
Robotics Engineers



次世代のエンジニア“挑戦的共創人材”とは



エンジニア選手権（CoRE）は、ロボット競技会を通じて次世代のエンジニア“挑戦的共創人材”を育成するための場所です。挑戦的共創人材とは下図の7つの価値観を体現するような、昨今の**飛躍的に進歩する技術を常に学び続け、周囲と力を合わせながら困難に挑み、技術でより良い未来を共創できる人材**として、主催者の次世代ロボットエンジニア支援機構が議論を重ねて定義しました。

挑戦的共創人材を育成するための場所として、エンジニア選手権では従来のロボット競技にはない様々な工夫を凝らしています。勝敗だけに拘る単なる競争にならずチーム間の協調が重要となる競技内容、当日のロボット競技の結果だけではなく、チーム活動や提出資料等の総合力を加味した総合優勝制度や個人表彰制度を設けました。これらにより、**様々な観点でエンジニアやチームとしての能力を測り**、これまでスポットライトが当たることが少なかったエンジニア自身を評価して優れたエンジニアとチームを育成することで、挑戦的共創人材の輩出を目指します。

継続で壁を打ち破る

情熱の下に、粘り強く問題に挑もう

未知に挑み続ける

新しい技術やアイデアを常に探求し
失敗を恐れず大胆に行動しよう

あらゆる挑戦を楽しむ

困難な状況で常に全力で楽しみ、
仲間とその楽しみを分かち合おう

協力してより高みへ

違いを認め合い、互いを尊重し、
協力することで高みを目指そう



学びで世界を変える

学び続けることで強みを伸ばし
視座を高めてより良い世界を共創しよう

未来へつなげる

チームやエンジニアコミュニティの
継続的発展のために行動しよう

人・技術へ誠実に

誠実で信頼される人となり、
公正かつ真摯に技術と向き合おう



ロボット関連技術だけでなく、ハードウェアとソフトウェアを総合的に学べ、チームワークを磨く場です

エンジニア選手権の参加者は、ロボット製作を通じて総合的にエンジニアリングを広く学び、チームで一つの物を開発する過程でチームワークを実践的に磨いています。これらのスキルはロボット関連企業のみでなくエンジニアリングに関係するあらゆる企業で必須となるものであり、即戦力となる人材に欠かせないものです。

ハードウェアスキル：ロボット製作過程でメカ系の担当者は機械設計製作、加工組立調整など、回路系の担当者は主にマイコン等を用いた組込回路系、モータ駆動回路等のパワーエレクトロニクス系までの設計製作経験を、各種CAE等のツール利用含めた多様なスキルと経験を獲得しています。

ソフトウェアスキル：本選手権に出場するロボットは主にC/C++、Python等のプログラミング言語を使用して制御されています。今後登場する自動ロボットにおいては、画像処理や制御器の設計実装スキルが要求され、参加者は実世界でロボット実機を制御するために必要なスキルと経験を獲得できます。

プロジェクトマネジメントスキル：参加者は限られたリソースを活用して最大限の成果を上げるように活動しています。本選手権ではプロジェクトマネージャーの設置もチームに求めており、スケジュールやタスク管理等のスキルを体験しながら習得できます。

チームワークスキル：本選手権は6名以上のチームで参加する必要があり、ロボット作りに挑む実戦経験の中で、技術コミュニケーションやチーム運営、後輩育成等の多様なスキルを必然的に学ぶことができます。

ロボット競技	実際の仕事
大会レギュレーション分析	市場ニーズ分析
目標実現手段のアイデア検討	要件定義
構想設計	構想設計
詳細設計	詳細設計
見積もり、加工、組立	見積もり、加工、組立
練習試合、改良	試運転、評価、改良
大会出場	納品、サービスイン

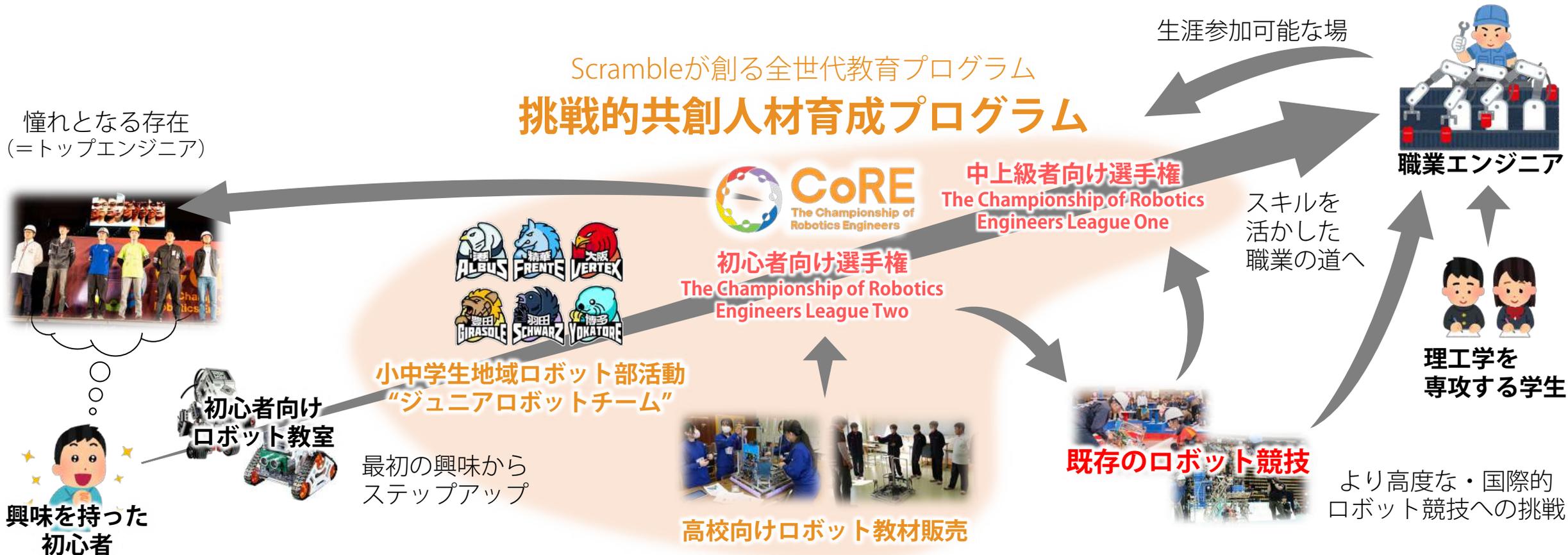


挑戦的共創人材育成プログラムの創出



主催する次世代ロボットエンジニア支援機構の狙いは、エンジニア選手権を軸に子ども・大人に限らず初学者も参加しやすく、また現役エンジニアも生涯参加することができ、エンジニアリングを学び続け、“挑戦的共創人材”を輩出する全世代教育プログラムを創出することです。2023年に開始したエンジニア選手権よりも参加ハードルを下げた初心者向け選手権も2024年から開始することで、初学者の参加を促します。

また、次世代ロボットエンジニア支援機構が別事業として進める、小中学生がロボット競技出場に挑む地域ロボット部活動“ジュニアロボットチーム”を合わせて全国展開することで、エンジニア選手権に参加する子ども達を増やす仕組みを構築します。



メディアでのエンジンニア選手権の紹介



ロボット競技大会「CoRE2023」

ロボット製作、競技通

主催者代表のあいさつをする山下京府新聞記者

CoRE2023の競技会場

競技内容

競技内容
競技内容
競技内容

見どころ1: 同盟バトル

見どころ2: 戦略が勝利の鍵

見どころ3: 一人称視点操縦

電子工作の苦楽体験「達成感大きい」

ものづくりがもっと身近で尊敬される世界を実現するために

ロボバトルで天下統一

「ものづくりがもっと身近で尊敬される世界を実現するために」

ロボバトルで天下統一

自作ロボで対戦 “eスポーツ”の大会 京都

総合優勝を目指してがんばろうと思っている

チーム「IMA-KING」の横原豊キャプテン

自作ロボで対戦 “eスポーツ”の大会

The Championship of Robotics Engineers 2023 (略称:CoRE2023) ロボットエンジニア選手権

The Championship of Robotics Engineers 2023 (略称:CoRE2023) ロボットエンジニア選手権

ロボットエンジニア育成と裾野拡大にエンタメ視点/スクラブル

日本からの新しいロボット競技、エンジンニアへのメッセージ

スクラブル

いいね! シェアする Xポスト

【CoRE】2023 決勝第1試合のハイライト

自作ロボットで対戦 “eスポーツ”の大会 京都

03月30日 06時21分

手作りのロボットを遠隔操作して対戦型のゲームを競技として行う「eスポーツ」の大会が京都市で開催されています。

この大会は、学生から社会人まで幅広い世代にロボットづくりを楽しんでもらおうと、京都府精華町

「eスポーツ」の大会が京都市で開催されています。

この大会は、学生から社会人まで幅広い世代にロボットづくりを楽しんでもらおうと、京都府精華町



Vision

誰もがエンジニアの素養を持ち、より良い社会を共創する

エンジニアの裾野が広がり優秀なエンジニアが多数輩出されるとともに、あらゆる人々がエンジニアの素養を持ち科学技術の発展へ共に貢献できる社会を創ることで、社会一体となって科学技術でより良い社会を共創する未来を作る。

Mission

これからの日本を牽引する エンジニアのたまごを地域から育成する

ロボット競技を活用し次世代の日本のものづくり界隈を牽引するエンジニアの育成を試みています。社会一体となってエンジニア教育を実施する基盤を地域社会で創出、子ども達の学びの場とするのみでなく、現役エンジニアや様々な企業、団体、個人が集うコミュニティを創りだすことが本機構の目的です。

ロボット競技会を人材育成・発掘の場 として最大限に活用する

ロボット競技はロボット作りをはじめ、チームでのものづくりの基礎を実践的に学ぶために非常に良いツールです。国内ではロボット競技会は趣味の一つとして考えられがちですが、海外ではロボット競技会はいまや企業の青田買いの場としても活用されています。本機構はロボット競技を通じて学生や子ども達と企業様の繋がりを作り、新たな就職活動の枠組みを作ります。

一般社団法人次世代ロボットエンジニア支援機構

〒619-0294 京都府相楽郡精華町精華台7-5-1

けいはんなオープンイノベーションセンター201号室

TEL：090-7495-3763（代表直通）

E-mail：info@scramble-robot.org



役員	代表理事	川節 拓実	京都大学
	理事	小林 憲人	株式会社ティアフォー
	理事	高橋 智也	トヨタ自動車株式会社
	理事	水野 海渡	大阪大学大学院博士後期課程学生
	理事	長沼 孝仁	株式会社日音
	監事	小林 雄一郎	兵庫県立大学大学院学校教育研究科学生
	監事	鮫島 功路	株式会社ダイフク
	顧問	浅田 稔	大阪大学名誉教授

2025-26シーズン 選手権のご案内

2026年1月31日～2月1日
CoRE2部リーグ2026 京都カップ

2026年3月21日～23日
CoRE1部リーグ2026

2026年6月頃
CoRE2部リーグ2026 関東カップ（仮）



CoRE1部リーグ2026開催概要



名称：The Championship of Robotics Engineers League One 2026 (CoRE-1: 2026)

開催日程：2026年3月21日(土)～3月22日(日) - 競技日
2026年3月23日(月) - 交流会

開催場所：島津アリーナ京都
(京都府京都市北区大將軍西鷹司町)

主催：(一社)次世代ロボットエンジニア支援機構

後援：文部科学省、京都府、京都市、
近畿経済産業局、(一社)日本ロボット学会
(いずれも申請予定)

参加予定：24チーム300名
(高専生、大学生、現役エンジニアなどを想定)

来場予定：観客数延べ8,000名 (目標)
(予選・準決勝・決勝の入れ替え制)

配信：全編YouTubeでの配信を予定

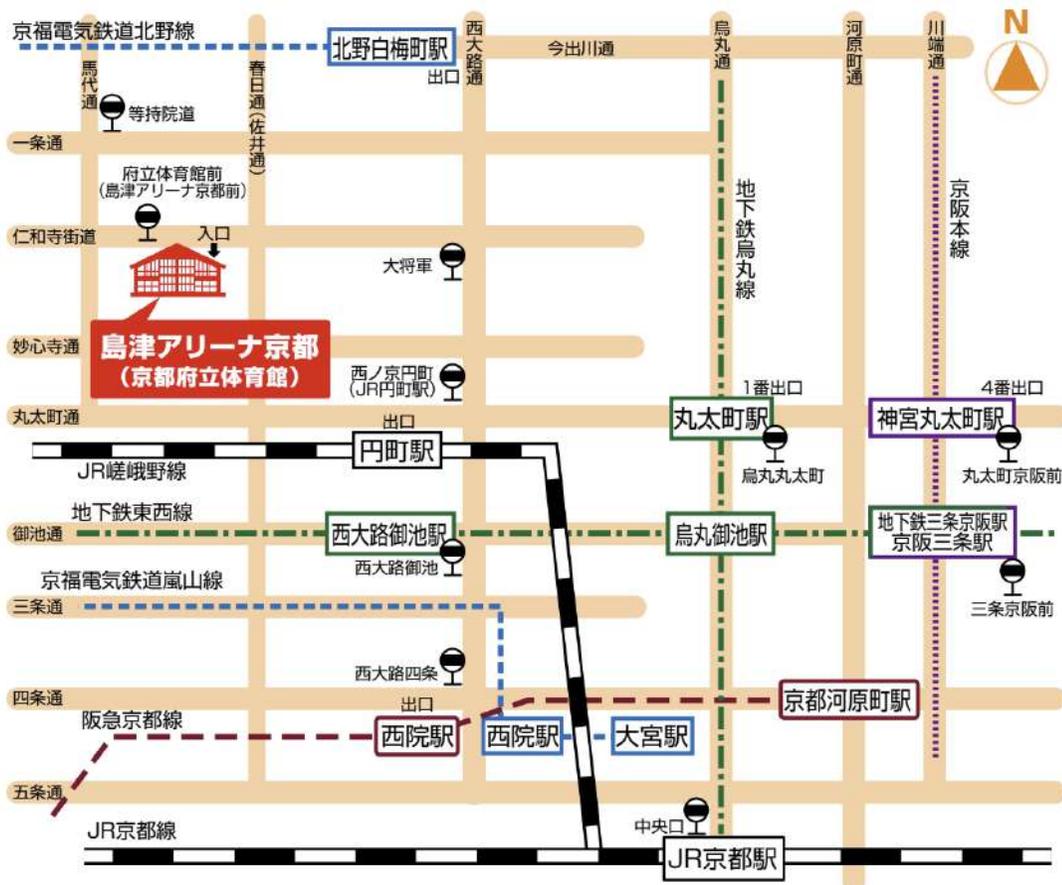




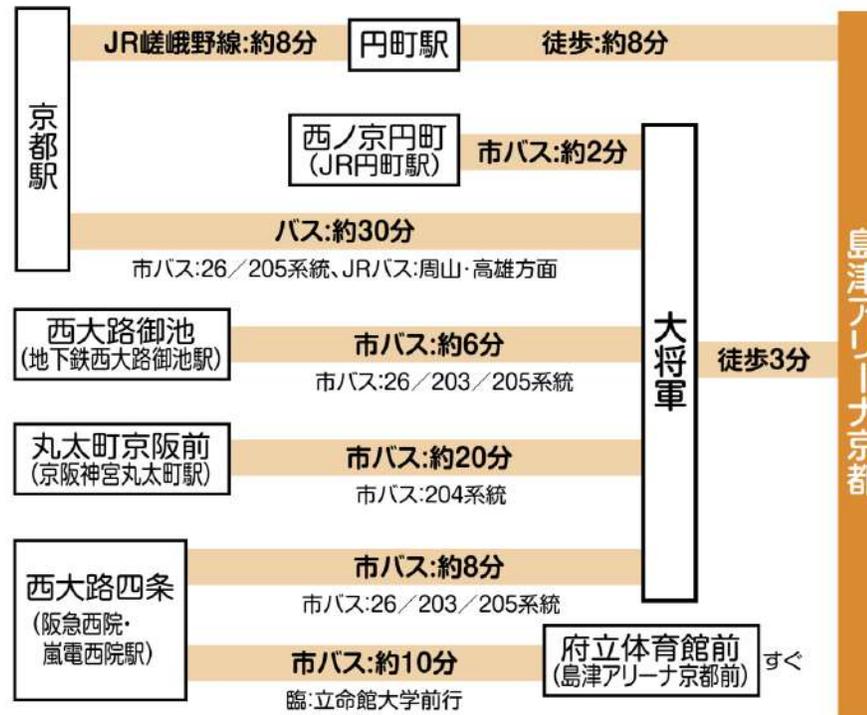
会場の島津アリーナ京都は固定観覧席5,016席を備え、JR京都駅や阪急線からもアクセスが良い体育館です。

島津アリーナ京都

〒603-8334 京都府京都市北区大將軍西鷹司町



アクセス



駐車場のご用意はありません。公共交通機関を必ずご利用ください。島津アリーナ京都の駐車場は関係者専用として規制しております。

図は島津アリーナ京都公式サイトより

エンジニア選手権2部リーグ2026京都カップ開催概要



名称：The Championship of Robotics Engineers League Two 2026 Kyoto Cup

開催日程：2026年1月31日-2月1日

土曜日 – 練習日

日曜日 – 競技日

開催場所：けいはんなオープンイノベーションセンター
(京都府相楽郡精華町精華台7-5-1)

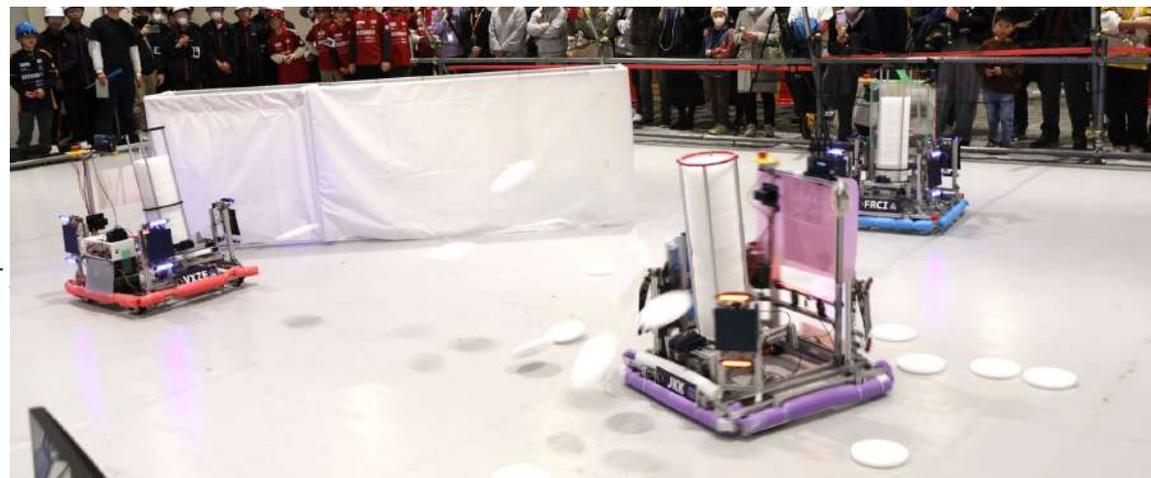
主催：(一社)次世代ロボットエンジニア支援機構

後援：精華町、(一社)日本ロボット学会
(いずれも申請予定)

参加予定：12チーム100名
(小中学生・高校生などを想定)

来場予定：観客数延べ300名 (目標)
(予約なしの随時観覧制)

配信：全編YouTubeでの配信を予定



エンジニア選手権2部リーグ2026関東カップ（仮）開催概要



名称：The Championship of Robotics Engineers League Two 2026 Kanto Cup（仮）

開催日程：2026年6月頃の土日

土曜日 – 練習日

日曜日 – 競技日

開催場所：未定（関東圏を想定）

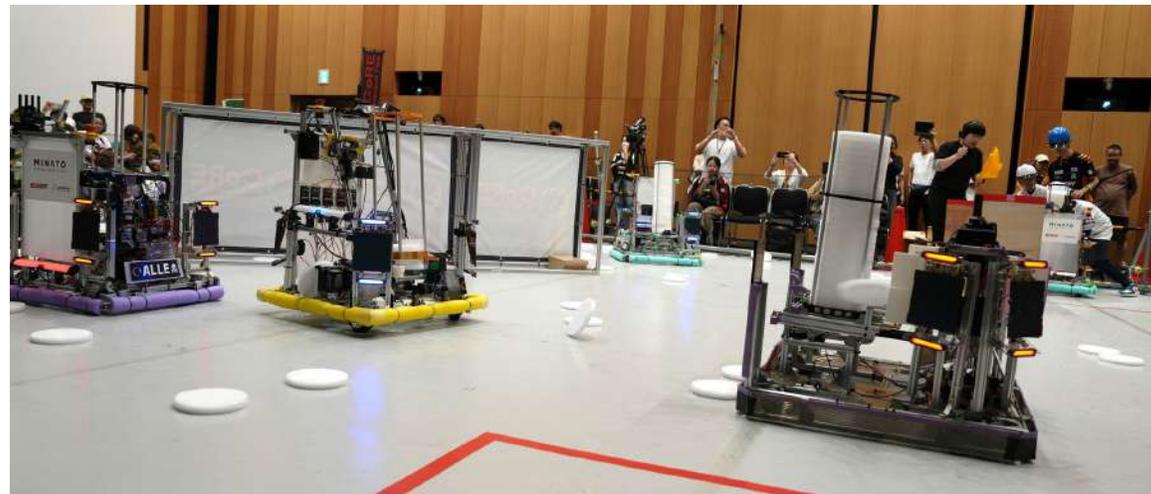
主催：(一社)次世代ロボットエンジニア支援機構

後援：(一社)日本ロボット学会（申請予定）

参加予定：8チーム60名
（小中学生・高校生などを想定）

来場予定：観客数延べ300名（目標）
（予約なしの随時観覧制）

配信：全編YouTubeでの配信を予定



スポンサーシップ・機器展示のご案内





①学生・現役エンジニア界隈へ貴社の効果的なPRが図れます

本機構が主催するエンジニア選手権CoREは、優れた技術力を持ち革新的なアイデアで周囲と共創しながら様々な困難を打破し未来を切り拓ける次世代のエンジニア“挑戦的共創人材”を育成する場です。本機構へスポンサーードしていただくことで**学生や現役エンジニアといった挑戦的共創人材のたまごに貴社やその製品、サービスを広くアピール**いただく機会となります。また、本選手権を企画運営する（一社）次世代ロボットエンジニア支援機構で科学技術の未来を考え行動している構成員の大多数がエンジニアリングを学ぶ学生、もしくは若手エンジニアであり、外部のみならず機構内の優秀な若手に対する貴社アピールにもつながります。





②優秀なエンジニアである学生・社会人とのつながりを作れます

エンジニア選手権では、学生から現役のエンジニアとして働く幅広い世代の優秀なエンジニア、そのたまごが参加しています。これらの参加者には、技術に触れて学ぶことが楽しく好きで仕方ないような、**自発的かつ意欲的に技術を磨き続けられる人材**が多数います。また、エンジニア選手権では選手自らがルールのあるべき姿を考え、ルールを作り変えることができるルールメイキング制度を導入しており、周囲と協調・対話しながら自己利益も追求できる人材育成を進めています。このような人材と関係性を作れるのは貴重な機会であり、従来の就職・転職活動では発掘できない、マッチングしない人材に出会えることもあるため、**新たな採用のチャンス**につなげて頂くことができます。





③次世代を担うエンジニアを育成する企業として社会貢献頂けます

科学技術が飛躍的に進歩し、技術を正しく理解し活用することが強く求められる現代において、あらゆる人々がエンジニア的素養や価値観を身につけ、その中から優秀なエンジニアを育成していくことは必須になります。本選手権への協賛を通じて、学生から社会人まで全世代向けの高度なエンジニアリング教育基盤を普及させる事業へ貢献いただけます。社内教育のみならず、社会的に**未来を創るエンジニア**、**またそのたまごの育成に貢献していることをエンジニア界隈にアピール**いただけ、**SDGs目標達成にも資するCSR（企業の社会的責任）活動に注力**されていることを参加者のみならず、オンラインで視聴する幅広い層にアピールいただけます。



スポンサーシップ・機器展示のご案内



ランク 金額	エメラルド 300万円	サファイア 200万円	ルビー 100万円	広告掲載 50万円	賞品提供 賞品
選手権サイト、パンフレットのバナー	大ロゴ	中ロゴ	小ロゴ	文字のみ	文字のみ
選手権パンフレットへの広告掲載	1ページ	1ページ	1/2ページ	1/4ページ	—
展示ブース	2コマ	2コマ	1コマ	—	—
選手権VIP座席へのご案内	20名様まで	20名様まで	20名様まで	—	—
選べるPRプラン	5ポイント付与	3ポイント付与	1ポイント付与	—	—
交流会への参加	可能	可能	—	—	—
特別PRプラン購入権	あり	—	—	—	—

機器展示・スポンサー費は消費税の課税対象外で、別途消費税を申し受けることはございません。この表の内容等については変更になる可能性もございますので予めご了承下さい。
ご不明な点がございましたらお気軽にお申し付けください。



- 選手権サイト、パンフレットへの貴社名ロゴ掲載
選手権公式サイト、選手権公式デジタルパンフレットにて
貴社名、ロゴをランクに応じて掲載致します。



エメラルド
大

サファイア
中

ルビー
小

広告
文字のみ

賞品
文字のみ

- 選手権パンフレットへの広告掲載
選手権時に現地会場にて配布するパンフレット（冊子）と
オンライン視聴者に配布するデジタルパンフレット（電子デー
タ）に広告を掲載いたします。原稿内容はご要望に応じます。



エメラルド
1ページ

サファイア
1ページ

ルビー
1/2ページ

広告
1/4ページ

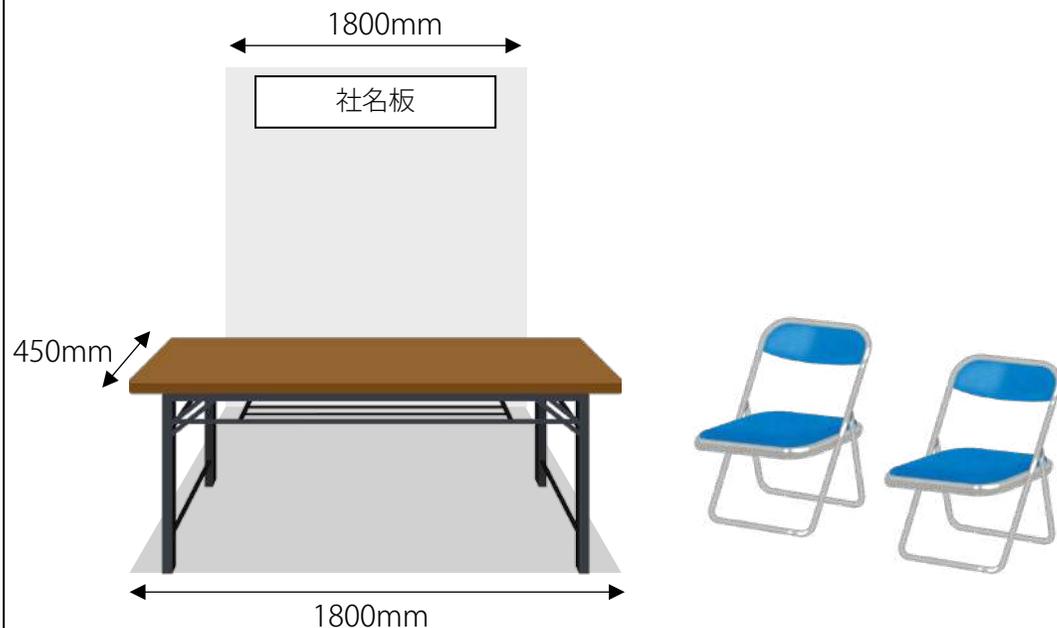
賞品
なし

※本ページの画像はイメージであり、写真は過去の実施例です。



■ 展示ブース

下記サイズの机1台、イス2脚、社名板が展示ブースの1コマとなります。ブース出展は1部リーグのみが対象です。



エメラルド
2コマ

サファイア
2コマ

ルビー
1コマ

広告
なし

賞品
なし

■ 選手権VIP座席へのご招待

選手権時に現地会場でご用意するVIP座席へランクに応じてご招待致します。会場にお越し頂く際の旅費等はお負担をお願いします。VIP座席は1部リーグのみ設置予定です。



エメラルド
20名様まで

サファイア
20名様まで

ルビー
20名様まで

広告
なし

賞品
なし



■交流会への参加

1部リーグのみ競技終了後翌日の月曜日に開催予定の、選手交流会にご参加頂けます。貴社エンジニアや採用担当者にご参加頂き、例えば選手が貴社エンジニアに技術相談をする場を作る、また貴社紹介の場を作るなど、交流会の場を選手との交流にご活用頂けます。



※選手の交流会への参加は任意としておりますが、例年出場選手総数の6~7割程度の多数の選手に参加いただいております

エメラルド
可能

サファイア
可能

ルビー
なし

広告
なし

賞品
なし

■特別PRプランの購入権

2部リーグ京都ネーミングライツ

エンジニア選手権2部リーグ京都カップの「京都」箇所に任意の名称を名付けていただけます。例えば貴社名の他、ご希望の名称といたします。また、のぼり他会場内装飾にも名称を反映し、選手や観客にもPRとなるようにいたします（PR内容についてはお打ち合わせの上、決定いたします）

200万円（1社先着）

2部リーグ関東ネーミングライツ

エンジニア選手権2部リーグ関東カップの「関東」箇所に任意の名称を名付けていただけます。例えば貴社名の他、ご希望の名称といたします。また、のぼり他会場内装飾にも名称を反映し、選手や観客にもPRとなるようにいたします（PR内容についてはお打ち合わせの上、決定いたします）

200万円（1社先着）

エメラルド
購入権あり

サファイア
なし

ルビー
なし

広告
なし

賞品
なし

スポンサーシップ・機器展示内容のご紹介



■ 選べるPRプラン ランクに応じて下記のA種、B種よりプランをご選択頂けます。各プラン詳細は次ページ以降をご覧ください。

A種
1プラン
2ポイント

貴社名を冠する特別賞の授与



5社先着

技術交流会でのショートプレゼンテーション



3社先着

ストリーミング配信での貴社PR映像放映



5社先着

会場にロゴパネル（大）設置



6社先着

バックパネルへロゴ（大）掲載



4社先着

B種
1プラン
1ポイント

ストラップへの貴社ロゴ掲載



2社先着

腕章への貴社ロゴ掲載



2社先着

参加者への貴社ノベルティ配布



上限数無し

技術交流会でのスピーチ



5社先着

会場にロゴパネル（小）設置



8社先着

バックパネルへロゴ（小）掲載



8社先着

エメラルド
5ポイント分

サファイア
3ポイント分

ルビー
1ポイント分

広告
なし

賞品
なし

※本ページの画像はイメージであり、写真は過去の実施例です。



■ 貴社名を関した賞の授与

選手権において、貴社名を関した賞を授与いたします。賞は個人対象も、チーム対象もどちらも可能です。受賞者・受賞チームを選んで頂くことも、一任頂くことも可能です。



Aランク
5社様先着

■ 技術交流会でのショートプレゼンテーション

選手権翌日に開催する技術交流会において、5分間のプレゼンテーションをしていただけます。なお、懇親会は1部リーグのみ実施予定で、選手の参加は任意となっております。



Aランク
3社様先着
1部リーグのみ

■ ストリーミング配信での貴社PR映像放映

選手権のストリーミング配信時、配信待機時、休憩時に貴社PR映像を放映いたします。2分以内のPR映像をご用意いただき、繰り返し放映いたします。



Aランク
5社様先着

■ 会場にロゴパネル（大）設置

選手権のフィールドそばに、貴社ロゴを掲載したロゴパネル（大）を設置いたします。なお、ロゴパネル設置は1部リーグのみ実施予定です。



Aランク
6社様先着
1部リーグのみ



■バックパネルへ貴社ロゴ（大）掲載

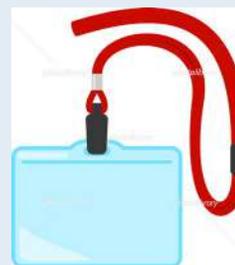
選手権において、選手インタビューなどの背景として利用するバックパネルに貴社ロゴを大サイズにて掲載いたします。



Aランク
4社様先着

■ストラップへの貴社ロゴ掲載

選手権にて選手・スタッフが着用するネックストラップの紐部分に貴社ロゴを掲載いたします。なお、ストラップは選手へ進呈予定です。



Bランク
2社様先着

■腕章への貴社ロゴ掲載

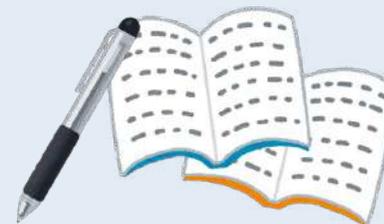
選手権においてキャプテンや操縦手など役職付きの選手が着用する腕章に、貴社ロゴを掲載いたします。



Bランク
2社様先着

■参加者へのノベルティ配布

選手権の参加者に貴社ノベルティを配布いたします。参加者受付時に、基本的に全員へ配布いたします。



Bランク
上限数無し



■ 技術交流会でのスピーチ

選手権翌日に開催する技術交流会において、2分間のスピーチをしていただけます。なお、技術交流会は1部リーグのみ実施予定で、選手の参加は任意となっております。



Bランク
5社様先着
1部リーグのみ

■ 会場にロゴパネル（小）設置

選手権のフィールドそばに、貴社ロゴを掲載したロゴパネル（小）を設置いたします。なお、ロゴパネル設置は1部リーグのみ実施予定です。



Bランク
8社様先着

■ バックパネルへ貴社ロゴ（小）掲載

選手権において、選手インタビューなどの背景として利用するバックパネルに貴社ロゴを小サイズにて掲載いたします。



Bランク
8社様先着



一般社団法人次世代ロボットエンジニア支援機構

スポンサーシップ・機器展示担当：川節

〒619-0294 京都府相楽郡精華町精華台7-5-1けいはんなオープンイノベーションセンター201号室

TEL：090-7495-3763（代表直通）

E-mail：info@scramble-robot.org

【振込先情報】

銀行名：京都銀行（0158）

支店名：精華町支店（305）

口座種別・番号：普通 4041125

口座名義：一般社団法人次世代ロボットエンジニア支援機構 代表理事 川節拓実



- スポンサーは年間スポンサーとして、2025年11月1日から2026年10月31日までとなります。いつでもお申し込みいただけますが、シーズン途中でのお申し込みに関しては、2026年10月31日までが有効期限となりますのでご注意ください。
- お申し込みは主催元の（一社）次世代ロボットエンジニア支援機構までお願いいたします。

一般社団法人次世代ロボットエンジニア支援機構 担当：川節

〒619-0294 京都府相楽郡精華町精華台7-5-1 けいはんなオープンイノベーションセンター209号

E-mail: info@scramble-robot.org TEL: 090-7495-3763（川節直通）

留意事項

- 感染症の流行や天災その他の不可抗力により実施が困難となった場合、主催者は開催前または開催中に、開催中止または開催時間の短縮を行う場合があります。その場合、参加者およびスポンサー・機器展示側に損害が生じる場合であっても、主催者は一切その責任を負いません。
- 各選手権の開催が天災その他の不可抗力により実施が困難となった場合、それ以前にお支払い頂いたスポンサーシップ・機器展示費につきましては年間費用のため返金いたしません。
- 何らかの事情により、スポンサー・機器展示側のご判断にて出展を中止された場合も、スポンサーシップ・機器展示費の返金を行いません。

競技・表彰評価制度のご紹介





「ロボット×一人称視点×同盟バトル」でエンジニアの頂点を目指せ！

CoREのロボット競技は、協力と戦略が鍵となる同盟バトル方式です。負けたチームが勝ったチームに加わり、協力して次の試合に挑むこの形式では、連携と交渉力が不可欠。チーム間の駆け引きやルールメイキングも重要な要素です。

さらにロボットに搭載したカメラの映像を見て、ロボット目線で操縦してフライングディスクを当て合うエンターテインメント性とゲーム性の高い競技設計が特徴で、観戦者にも参加の意欲をかき立てます。限られた視界をチームワークと技術で補い、エキサイティングな対戦を展開します。こちらの基本ルール紹介動画も合わせてご覧ください：<https://youtu.be/Ev4a87VXtDs>

競技の基本ルールは1部リーグと2部リーグで共通ですが、1部リーグでは完全に自動で動作するロボットなど様々な種別のロボット開発が可能であり、またフィールドサイズも格段に大きいなど、よりレベルが高く迫力のある同盟バトルをご覧ください。

見どころ1：同盟バトル

複数チームで同盟を結成し同盟同士で対決！敗れた同盟は勝利した同盟の配下となり次の試合も出場！



見どころ2：戦略が勝利の鍵

同盟内からどのロボットを出場させるか、敵同盟と本陣のどちらを撃破するかは各同盟の戦略次第！



見どころ3：一人称視点操縦

まるでFPSゲーム!?全てのロボットは1人称視点で操縦！操縦者間の連携が限られた世界を補





挑戦的共創人材を育成するために、当日の試合結果だけでなく、チーム活動や提出資料等の総合力を加味した総合優勝制度や個人表彰制度を設け、様々な観点でエンジニアやチームとしての能力を測ります。これによって、これまでスポットライトが当たることが少なかったエンジニア自身を評価して優れたエンジニアとチームの育成を図ります。

チームで獲得できる賞

総合優勝

個人育成・革新的技術開発・チーム運営において優れた成果を残し、競技においても優れた成績を残した、最も優秀なチームに贈られる賞。

革新的技術賞、革新的アイデア賞、グッドトライ賞、技術提案賞

勝利を目指す優れた設計思想の実現のために革新的なアイデアを考案し、その実現度合い、達成度合いに応じて贈られる賞。

リスクアセスメント賞

チームの活動において生じ得るリスクアセスメントの取り組みが優れたチームに贈られる賞である。

ナレッジシェア賞

エンジニアコミュニティ発展のために、チームが持つ知識やノウハウなどを積極的に外部へ公開する取り組みが優れたチームに贈られる賞である。

改善賞

チーム活動での課題や発生したトラブルに対して優れた改善方法を考案し、粘り強く改善に取り組んだチームに贈られる賞。

個人が対象の賞

MVP（最優秀選手）

本選手権で育てる“挑戦的共創人材”が持つべき、7つの価値観を最も体現したメンバーに贈られる、個人が獲得できる最高位の賞。

優秀キャプテン賞

優れた分析・決断・先導力でチームをあるべき方向に導き、またチームの円滑かつ継続的発展に務めた、模範となるべきキャプテンに贈られる賞。

優秀監督賞

優れた観察・指導力と親しみやすさを持ち、全メンバーの継続的な成長や挑戦を促すことに努めた、模範となるべき監督に贈られる賞。

優秀プロジェクトマネージャー賞

優れた分析・計画力でチーム目標を実現する計画を立案し、円滑に進むように努めた、模範となるべきプロジェクトマネージャーに贈られる賞。



CoRE公式Xアカウント

https://twitter.com/Scramble_CoRE

CoRE公式Webサイト

<https://core.scramble-robot.org/>

メールアドレス

info@scramble-robot.org

主催者公式Xアカウント

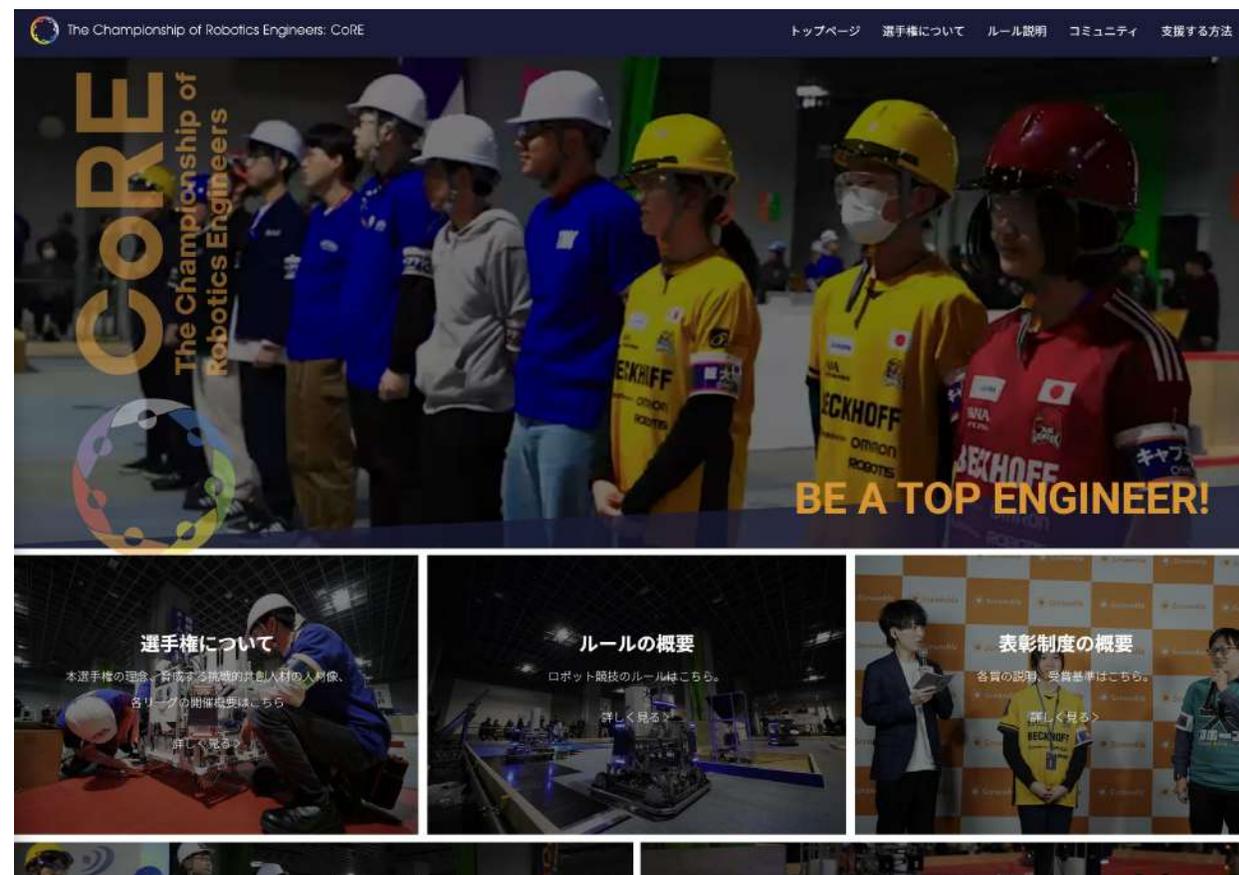
https://twitter.com/Scramble_JPN

主催者公式Facebookページ

<https://www.facebook.com/ScrambleRobocon/>

主催者公式YouTubeチャンネル

<https://www.youtube.com/@scramble-robot>





エンジニアが輝き、
憧れられる世界を創る。



 **CoRE**
The Championship of
Robotics Engineers

